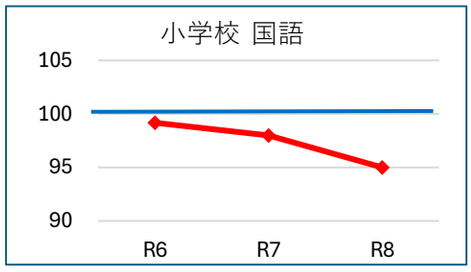
令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果分析（小学校）について

【 国　語 】

● 平均正答率

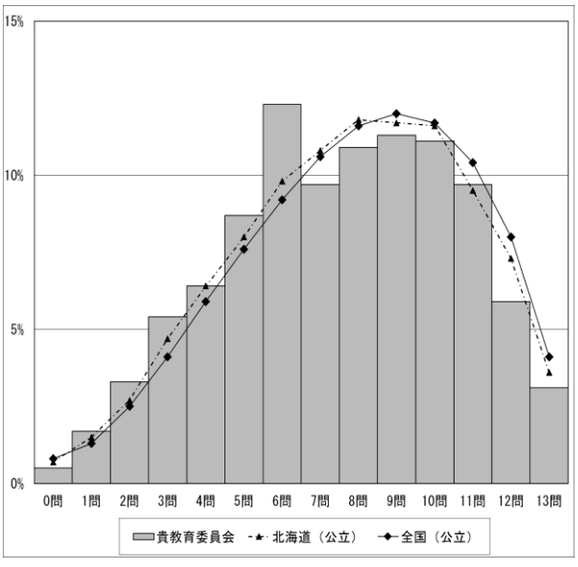
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	7.9/13問	60.9%	やや低い （－３％以下～－５％未満）
全道	7.8/13問	59.6%	同様下位 （－１％以下～－３％未満）

● 経年変化

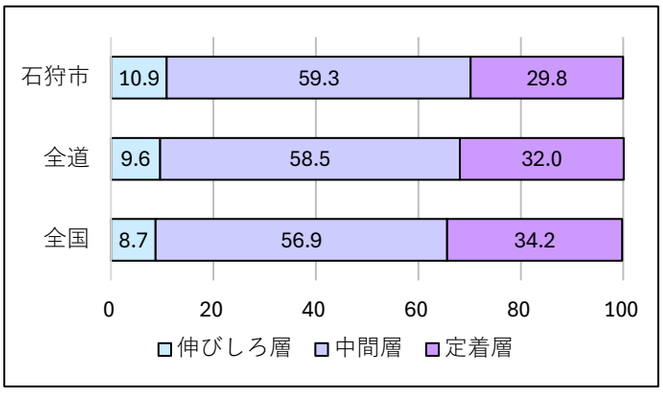


※全国平均を100とする

● 正答数分布

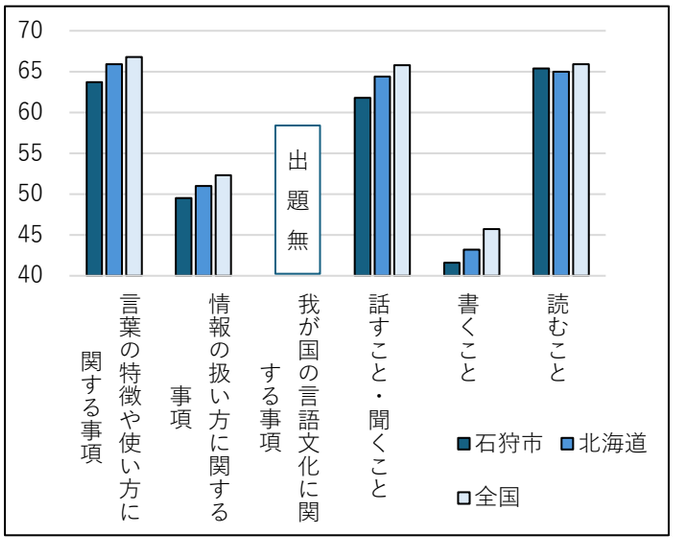


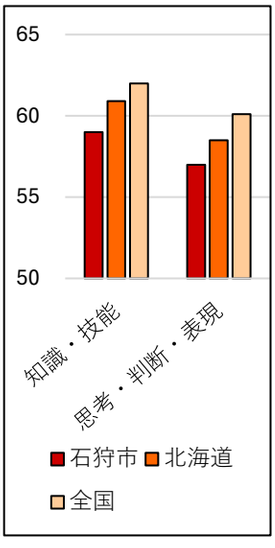
● 三層割合

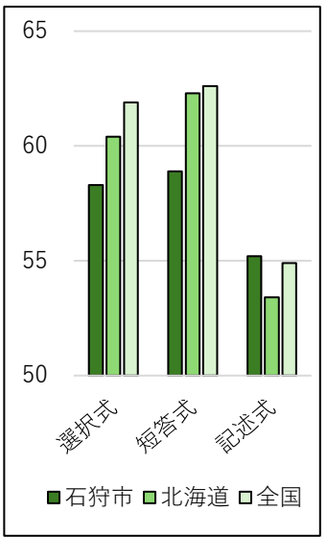


伸びしろ層：正答数０～３問
中間層：４～９問
定着層：１０～１３問

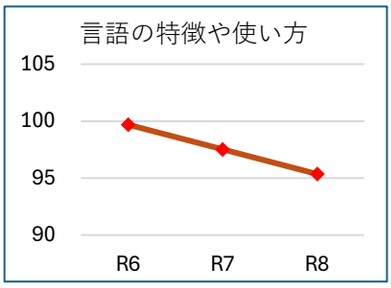
● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率

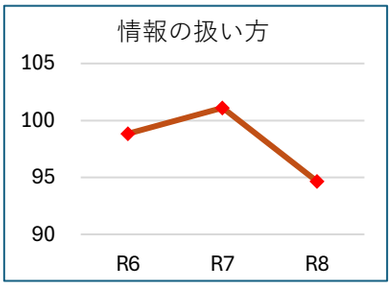


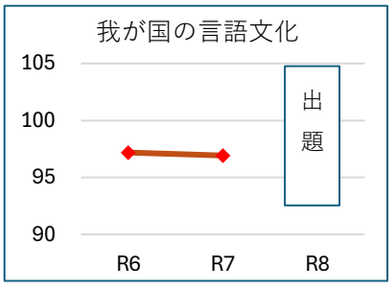


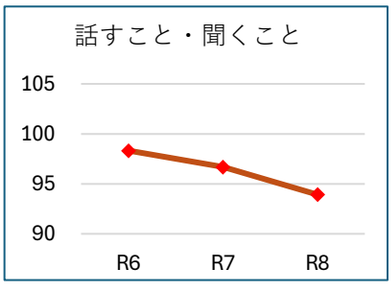


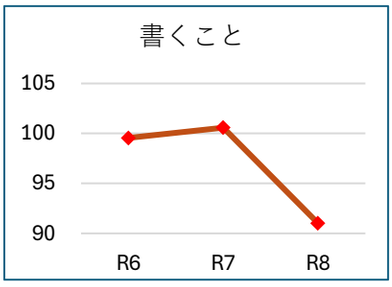
● 領域等の経年変化　※全国平均を100とする

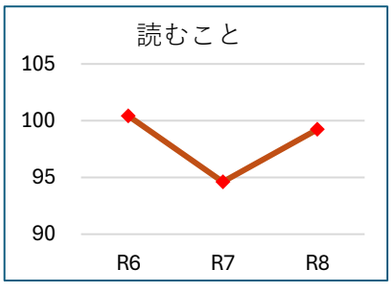












● 結果の概要

◇国語の正答率は、全国と比較するとやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。
　令和７年度と比較すると、下降しました。
◇領域別「知識及び技能」についての結果です。
　「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「情報の扱い方に関する事項」は、全国、全道とほぼ同様（下位）
　「我が国の言語文化に関する事項」は、出題無し
◇領域別「思考力、判断力、表現力等」についての結果です。
　「話すこと・聞くこと」は全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「書くこと」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「読むこと」は、全国、全道と同様
◇問題形式別についての結果です。
　「選択式」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「短答式」は、全国、全道よりやや低い
　「記述式」は、全国と同様、全道とほぼ同様（上位）

● 調査問題の内容

　学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、小学校第５学年までの内容となっています。
（例）
■【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する。
■【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。
■【文章】の特徴として適切なものを選択する。
■【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く。
■ 設問数は１３問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	北海道	全国
１二（３）	〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	65.0	63.8	65.2
３三（２）	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	読むこと	78.7	76.3	76.4

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	全国	全国との差
１二（１）	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	54.4	60.2	-5.8
２一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる	書くこと	51.5	57.9	-6.4

● 指導の改善

【問題番号１二（１）　話すこと・聞くこと】

○資料を活用するとは、音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに、資料を使いながら話すことです。

・指導に当たっては、資料の活用による効果も予想しながら考えられるよう指導することが大切です。また、目的や相手、状況などを踏まえて、話す内容と資料との整合、適切な時間や機会での資料の提示の仕方などに注意するよう指導することも大切です。

【問題番号２一　書くこと】

○筋道の通った文章にするためには、文章全体の構成を工夫することに加え、「考えと理由や事例」、「原因と結果」、「疑問と解決」などのつながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えていくことが重要です。

・指導に当たっては、文章全体の筋道を整えるためにどのようなつながりや配列があり、それぞれにどのような効果があるのかを教師が整理しておくことが大切です。その上で、書き手である児童が「読み手にどのように読み進めていってほしいか」という目的に応じて、ふさわしいつながりや配列を考えて書き表すことができるようにすることが重要です。

● 国語に関する意識調査（児童質問紙項目52～59、国1より）

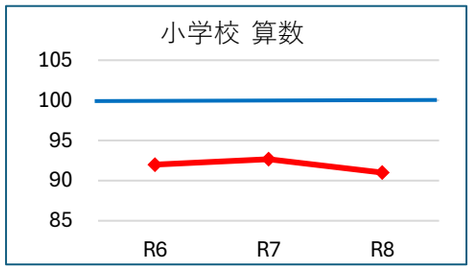
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
52	国語の勉強は得意ですか	58.2	60.4	-2.2
53	国語の勉強は好きですか	58.2	57.4	0.8
54	国語の授業内容はよく分かりますか	79.2	81.5	-2.3
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.8	90.4	-0.6
56	５年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	82.0	78.1	3.9
57	５年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	82.9	75.1	7.8
58	５年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか	81.3	80.7	0.6
59	５年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	79.7	78.3	1.4
国1	「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	83.5	79.3	4.2
	２問あった記述式問題の無解答率の平均	6.5	10.4	-3.9

【 算　数 】

● 平均正答率

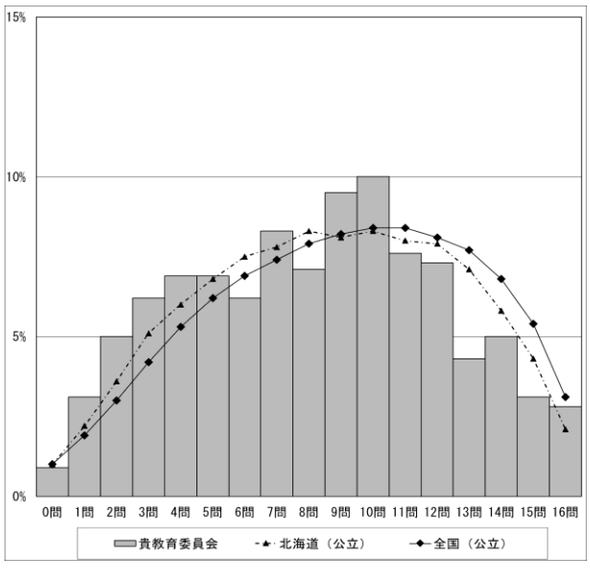
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.0/16問	56.4%	低い （－５％以下～－７％未満）
全道	8.6/16問	53.6%	ほぼ同様下位 （－１％以下～－３％未満）

● 経年変化

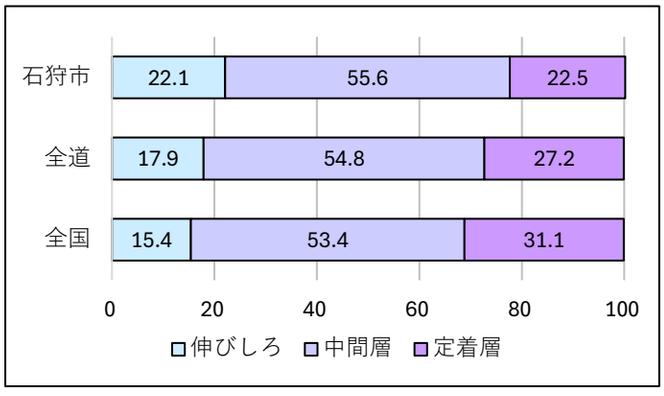


※全国平均を100とする

● 正答数分布

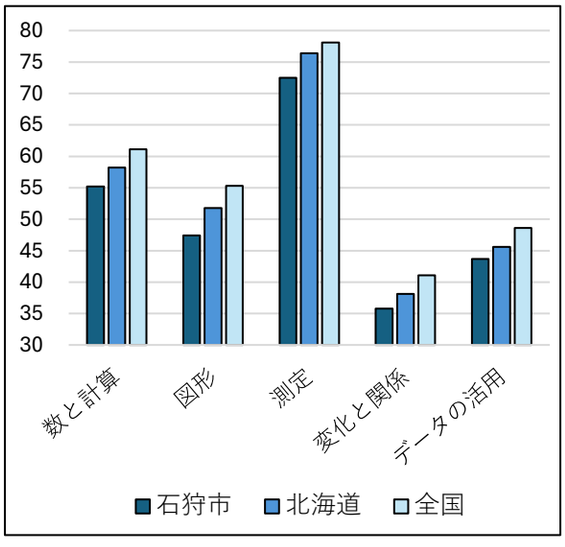


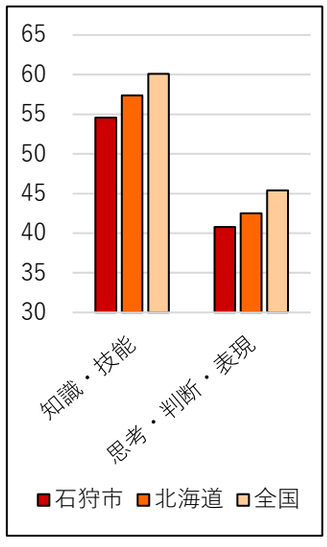
● 三層割合

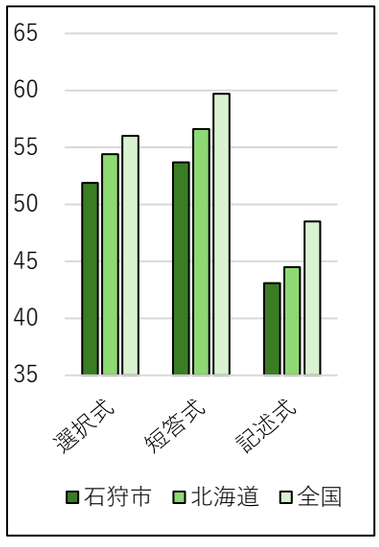


伸びしろ層：正答数０～４問
中間層：５～１１問
定着層：１２～１６問

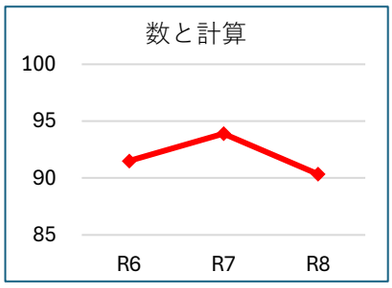
● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率

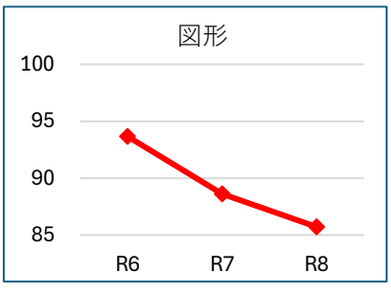


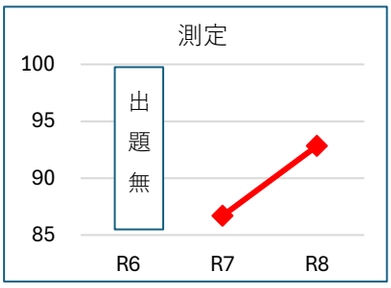


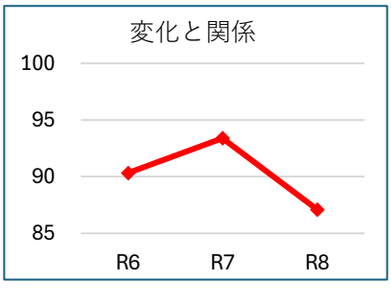


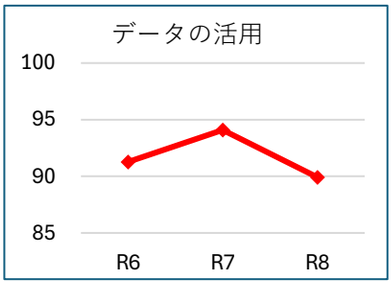
● 領域等の経年変化　※全国平均を100とする











● 結果の概要

◇算数の平均正答率は、全国より低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。
　令和７年度と比較すると、若干下降しました。
◇領域別についての結果です。
　「数と計算」「測定」は、全国より低く、全道よりやや低い
　「図形」は、全国より相当低く、全道よりやや低い
　「変化と関係」は、全国より低く、全道とほぼ同様（下位）
　「データの活用」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
◇問題形式別についての結果です。
　「選択式」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「短答式」「記述式」は、全国より低く、全道とほぼ同様（下位）

● 調査問題の内容

　学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第５学年までの内容となっています。
（例）
■7/3と7/4のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く。
■一辺が８㎝の立方体の体積を求める式を書く。
■イシガメ14匹が動物園全体のカメの数の20％に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く。
■二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く。
■ 設問数は１６問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	北海道	全国
2 （1）	７４２９１の百の位の数を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	数と計算	68.7	63.1	66.5
3 （1）	１、５、９の３枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	数と計算	93.6	94.4	94.5
4 （4）	帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何％かを選ぶ	帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる	データの活用	72.0	73.8	74.9

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	全国	全国との差
1 （1）	一辺が８ｃｍの立方体の体積を求める式を書く	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる	図形	62.1	72.7	-10.6
1 （4）	四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	数と計算 図形 データの活用	35.1	45.2	-10.1
3 （2）	二つの小数のどちらが５に近いかを判断するために、６．３７－５と５－３．７６を計算する	二つの小数のどちらが５に近いかを判断するために、６．３７－５と５－３．７６を計算する	数と計算	46.9	58.1	-11.2

● 指導の改善

【問題番号１（１）図形】
○立方体や直方体の体積が、互いに直交する三つの辺の長さによって決まることから、立方体の体積が、（一辺）×（一辺）×（一辺）で求められることを、理解できるようにすることが重要です。
・指導に当たっては、例えば、長方形や正方形の面積の求め方を基にして、直方体や立方体の体積の求め方を類推的に考え、体積の計算による求め方を考察する活動が考えられます。その際、立方体や直方体は一辺が１cmや１mなどの単位体積の立方体を積み重ねてつくることができることから、単位体積の立方体をきちんと敷き詰めた１段分の個数と、その段の個数をかけあわせることで、直方体や立方体の体積を求められることを理解できるようにすることが大切です。

【問題番号１（４）数と計算　図形　データの活用】
○日常生活の問題について、身の回りのものを図形として捉え、図形を構成する要素に着目して考察できるようにすることが重要です。
・指導に当たっては、例えば、同じ形の直方体４個をいろいろなまとめ方をしたときの送料を考える活動が考えられます。その際、まとめた直方体が直方体でどのように構成されているかについて考え、まとめた直方体の縦の長さ、横の長さ、高さを捉えることができるようにすることが大切です。また、同じ直方体４個をまとめた直方体でも、まとめ方により三つの辺の長さやその合計が変わり、送料が変わる場合があることに気付くことができるようにすることも大切です。

【問題番号３（２）数と計算】
○小数の加法及び減法の計算は、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるようにすることが重要です。
・指導に当たっては、例えば、小数の加法及び減法の計算の仕方を考える活動が考えられます。その際、下のように、小数の加法及び減法は、小数の仕組みの理解に基づき、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるようにすることが大切です。

● 算数に関する意識調査（児童質問紙項目60～67、算1より）

質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
60	算数の勉強は得意ですか	55.6	60.1	-4.5
61	算数の勉強は好きですか	52.9	57.6	-4.7
62	算数の授業内容はよく分かりますか	77.9	77.5	0.4
63	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.6	91.0	-1.4
64	５年生まで受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	84.1	83.2	0.9
65	５年生まで受けた授業では、算数の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	83.8	81.7	2.1
66	５年生まで受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	69.1	63.0	6.1
67	５年生まで受けた授業では、算数の授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか	87.3	88.3	-1.0
算1	「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	80.7	77.7	3.0
	４問あった記述式問題の無解答率の平均	4.0	4.2	-0.2